

2011年度

科目名	社会福祉援助技術演習Ⅱ			
担当教員	船本 淑恵、阪本 博寿			
配当	教福2(42114212)		コード	11022
開期	通年	講時	月曜日1限	単位数 4
授業テーマ	専門的援助技術を展開するために必要な知識と技術について、演習形式により実践的に習得する。			
目的と概要	社会福祉相談援助を行うときの基盤となる面接技法や生活問題のアセスメントのための技法等について、その基本原則と援助過程を実践的に理解するために、演習形式の授業を行う。 具体的な相談援助事例等を活用し、実技指導(ロールプレイング等)を中心とする演習形式により、総合的かつ包括的な援助について実践的に習得する。			
成績評価法	授業時の発言・報告・授業時レポート:80% 期末レポート:20%			
テキスト	社会福祉法人日本社会福祉士会養成校協会監修、白澤政和他編、『社会福祉士相談援助演習』、中央法規出版。			
参考書	適宜紹介する。			
履修に当たっての注意・助言/準備学習	積極的・主体的に演習に参加してください。受講生の生活体験を補うために、新聞などを読み社会の出来事や暮らしの実態について把握しておくこと。			
講義計画				
1. 前期オリエンテーション(船本) 2. 地域を基盤とした相談援助演習 (1) 「地域福祉計画の策定」(船本) 3. 地域を基盤とした相談援助演習 (2) 「地域におけるサービス提供」(船本) 4. 地域を基盤とした相談援助演習 (3) 「地域におけるネットワーキング」(船本) 5. 地域を基盤とした相談援助演習 (4) 「地域における権利擁護活動」1(船本) 6. 地域を基盤とした相談援助演習 (5) 「地域における権利擁護活動」2(船本) 7. 地域を基盤とした相談援助演習 (6) 「社会資源の把握、活用、調整、開発」(船本) 8. 地域を基盤とした相談援助演習 (7) 「住民参加と組織化活動」(船本) 9. 対象者別にみた相談援助演習 (1) 「低所得者」(船本) 10. 対象者別にみた相談援助演習 (2) 「ホームレス」(船本) 11. 対象者別にみた相談援助演習 (3) 「アルコール依存者」(船本) 12. 対象者別にみた相談援助演習 (4) 「非行少年」(船本) 13. 対象者別にみた相談援助演習 (5) 「犯罪者」(船本) 14. 対象者別にみた相談援助演習 (6) 「在住外国人」(船本) 15. まとめ 1. 後期オリエンテーション (阪本) 2. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (1) 「社会的排除」 (阪本) 3. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (2) 「ミクロからマクロ・レベル実践」1 (阪本) 4. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (3) 「ミクロからマクロ・レベル実践」2 (阪本) 5. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (4) 「虐待(児童)」1 (阪本) 6. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (5) 「虐待(児童)」2 (阪本) 7. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (6) 「虐待(児童)」3 (阪本) 8. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (7) 「学校でのいじめ問題」1 (阪本) 9. 社会問題を基盤とした相談援助演習 (8) 「学校でのいじめ問題」2 (阪本) 10. 対象者別にみた相談援助演習 (1) 「児童(児童養護施設入所) 入所」(阪本) 11. 対象者別にみた相談援助演習 (2) 「児童(児童養護施設入所) 権利擁護活動」1 (阪本) 12. 対象者別にみた相談援助演習 (3) 「児童(児童養護施設入所) 権利擁護活動」2 (阪本) 13. 対象者別にみた相談援助演習 (4) 「児童(児童養護施設入所) 退所」(阪本) 14. 対象者別にみた相談援助演習 (5) 「児童(児童養護施設入所) アフターケア」 (阪本) 15. まとめ(阪本)				